

# 平成 22 年度 財団法人浜松市フラワー・フルーツパーク公社 事業計画

## 1 運営の基本方針

浜松市が推進する「花とみどりのまち・浜松」の拠点施設にふさわしい「感動」と「安らぎ」のある魅力あふれる園づくりを進め、来園者数の向上に努めてまいります。また、花き園芸、果樹園芸技術の更なる向上と園芸文化の情報発信機能高めるとともに、近隣レジャー施設との連携を今まで以上に強化してまいります。園運営にあたっては、効率的・効果的な組織編成、人員配置を実施する等経営の健全化に努めてまいります。

フラワーパークにおいては、昨年、花と緑の国際的な園芸イベント「浜松モザイカルチャー世界博 2009 浜名湖立体花博」が開催され、日本初の新たな園芸技術の展示として、期間中 86 万人余の入場者をお迎えするなど盛況を博し、国内外にフラワーパークの魅力を発信することができました。浜松市では世界博の開催を機に、モザイカルチャー発祥の地として園芸文化の普及に取り組む方針を示すとともに、フラワーパークに「モザイカルチャーメモリアル庭園」を設置し、一部作品を継続展示することとしております。当公社におきましても、長年にわたり培った知識・経験を還元するべく作品制作にあたるほか、市民の関心が高まりつつある植栽管理への参画機会を実現し、協働で新たな園芸手法の定着を図ってまいります。

また、世界博開催が館山寺地域の観光振興に大きく貢献した実績から、周辺観光関連業者、地域観光施設と連携して営業活動を強化する一方、新たな魅力となる「藤棚」設置や、各種イベントを企画して園の活性化を図り、誘客に努めてまいります。

フルーツパークにおいては、園の中心事業である果物収穫体験やイチゴ狩りで高品質の果実の提供に努めるほか、人気果物を重視した植栽変更、白藤（総延長 150m）やアーモンドの花といった見所の充実を図り、誘客につなげてまいります。さらに、地元関係者と協力してゲンジボタル観賞会やつり堀を開催するとともに、奥浜名湖観光連絡協議会やグリーンツーリズム協会等と連携した事業を実施することで、地域に愛される園づくりに努めてまいります。

## 2 事業内容

### (1) 共通事項

ア 観賞、散策及び研修用の施設の管理運営、栽培技術の指導

(ア) 園内観覧乗物（トレイン）による広範な園内観賞の推進

(イ) 各種園芸教室・講習会の開催及び相談業務の推進

(ウ) 教育関係者及び児童生徒等研修生の受入

イ その他目的を達成するために必要な事業

(ア) 公社経営健全化の推進

(イ) 売店、遊戯施設及び駐車場の管理運営

(ウ) 大型イベントや各種行事の実施及びインターネット等メディアを活用した園内情報の随時発信

- (エ) ボランティアガイドの育成及び園芸作業ボランティアの受入
- (オ) 周辺観光関連業者、地域観光施設との連携による誘客活動の推進
- (カ) ダイレクトメール等による誘客活動の推進
- (キ) 「公益法人制度改革」への対応と移行申請準備

## (2) 浜松市フラワーパーク

### ア 花き類の栽培展示

- (ア) メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇装飾
- (イ) 植栽球数の増加によるチューリップ展示の更なる充実
- (ウ) 熱帯スイレンの展示
- (エ) 花いかだによる水上装飾展示
- (オ) 早春咲きのハナナ、スイセンの展示
- (カ) アメジストセージをメインにした秋花壇の充実
- (キ) 早咲きの桜園（館山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の充実
- (ク) 花梅園の修景及び早春ボタン特設花壇の充実
- (ケ) 百種接分菊、トーテムポール菊の栽培展示
- (コ) モザイカルチャー作品（「ほほえみのハーモニー」等）の装飾とその維持管理
- (サ) 「おかみさん会」から寄贈された藤の育成管理

### イ 観賞、散策及び研修用の施設の管理運営

- (ア) 夜間開園の充実（夜桜、蛍の夕べ、冬季イルミネーション等）

### ウ 大温室「クリスタルパレス」の管理運営

- (ア) ガーデンシアター展示の年間企画及びその推進
- (イ) 展示用植物の育成管理
- (ウ) 熱帯植物の育成管理
- (エ) 球根ベゴニアの育成管理
- (オ) サボテン類、珍しい草花の育成管理
- (カ) 絶滅危惧種「ヒカリゴケ」の育成管理

### エ 花きの栽培技術の指導

- (ア) キク及びフリージアの新品種の導入、試作、展示並びに優良品種の選定

### オ 花きの優良種苗の生産及び配布

- (ア) キクのオリジナル品種の育成及び配布
- (イ) 浜松市農業新技術等研究開発事業の受託

### カ 浜松市が設置する公の施設の管理、運営及びその他の業務の受託に関すること

- (ア) 浜松市動物園植栽地管理ほか浜松市関連の管理業務の受託等

### キ その他目的を達成するために必要な事業

- (ア) レストラン、温室カフェ等便益施設の管理運営
- (イ) 「蛍の夕べ」や各種教室開催による教育文化事業の普及と情操教育の涵養推進

- (ウ) 動物園との合同イベント実施による誘客機能の向上
- (エ) 館山寺温泉観光協会等地域観光団体との連携による重点地域（中京圏）への雄客宣伝強化
- (オ) 幼稚園、小中学校団体をはじめとした子供向け体験イベント等の企画充実
- (カ) 各種市民緑花ふれあい事業への参画による市民交流の促進
- (キ) 開園 40 周年を記念した各種記念イベントの開催

### (3) 浜松市フルーツパーク

#### ア 果樹類の栽培展示

- (ア) 環境にやさしい果樹農業や省力管理技術の実証
- (イ) 施設栽培による作期前進及び高品質果実の生産
- (ウ) 熱帯果樹の周年展示（パパイヤの倒伏栽培、マンゴの鉢栽培の導入等）
- (エ) 収穫体験を重視した樹種品種変更等の実施  
（リンゴ「つがる」「ふじ」を改植）
- (オ) 収穫体験の早期実施を目指して植栽変更した果樹の育成

#### イ 観賞、散策及び研修用の施設の運営管理

- (ア) 白フジ、アーモンドの育成管理
- (イ) 出会いの広場を四季の草花で装飾する等植物の特色を生かした緑陰の育成管理
- (ウ) 紅葉の美しい樹種の充実

#### ウ 果樹の栽培技術の指導

- (ア) 家庭果樹栽培教室及び相談業務の推進
- (イ) 視察者・教育関係者及び園児・児童生徒等研修生の積極的な受入

#### エ 果樹の優良種苗の導入及び育成

- (ア) 浜松市農業バイオセンターと連携した組織培養による果樹の育苗技術の管理
- (イ) 販売用苗木の育成管理
- (ウ) 浜松市農業新技術等研究開発事業の受託

#### オ 浜松市が設置する公の施設の管理、運営及びその他の業務の受託に関すること

- (ア) 浜松市農業振興施設、リンゴ並木及び農林業体験実習館管理業務の受託

#### カ その他目的を達成するために必要な事業

- (ア) 総合売店、遊戯施設等便益施設の運営管理
- (イ) くだもの収穫体験の実施と委託によるイチゴ狩り運営の実施
- (ウ) 大型イベントを核とした各種行事の実施並びに広報活動の実施
- (エ) 関係機関並びに地域観光施設との連携
- (オ) ボランティア活動の受入及び育成

### 3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

#### (1) 人件費削減・職員数の見直し

定年退職、中途退職の補充を行わず、弾力的な人員配置や臨時雇用により対応し、人件費の削減を図ります。

区 分	本年度	前年度	増減
正規職員数	42 人	43 人	△1 人
その他職員数	0 人	1 人	△1 人
人 件 費	270,491 千円	291,403 千円	△20,912 千円

(2) CS（顧客満足）を意識した愛される園づくりの推進

従来の運営方法から一歩進めたCS（顧客満足）の考え方を導入し、アンケート調査等に基づく顧客満足度の的確な把握とお客様の声を運営に反映させ、入園者の増を図ります。

具体的な取り組みとして、

ア アンケートやメール・電話等を通じて市民から寄せられた意見等をマニュアル化し、その再発防止を徹底します。

イ アンケートで毎月数値化されて出てくる「顧客満足度値」の向上を図ります。

（平成22年度目標満足度値4.5点 平成17～20年度平均値4.4点/5点満点）

(3) 浜松市行財政改革推進審議会の答申について

平成21年3月、「平成21年度中にフラワーパーク、フルーツパークの存廃を決定すること」との答申がなされました。また、平成22年3月の公開審議においては委員より「市民の憩いの場としての公益性と、観光拠点などの収益性のどちらに重点を置くか」を優先して決めるよう求められました。こうした動きに対し、今後の両園を取り巻く中長期的な環境変化も見据えながら、地域住民や関係機関等からの意見の集約を図り、両施設の運営体制・事業手法の最善の方策を市と協議してまいります。